

外来における在宅療養支援能力向上のための研修 開催要項

研修目的

1. 外来看護を取り巻く現状と課題のもと、地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。
2. 習得した知識を、在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。

学習目標

- 1) 講義を通じて、外来看護を取り巻く現状や国の政策について理解することができる。
- 2) 所属施設の医療機関や地域の実情等から、地域で切れ目ない在宅療養支援を行う上での、自施設が担うべき役割を理解することができる。
- 3) 1) 及び 2) を踏まえて、演習によって、在宅療養支援における自身の役割や課題に対する認識を深め、実践力の強化につなげることができる。

研修方法：①講義（eラーニングコンテンツの視聴）②事前課題③演習

研修日程：

① 講義 (eラーニング 200分)	令和5年11月上旬～12月8日(金) 【eラーニングシステムeden】 ログインするためのIDとパスワードを11月上旬にメールにて送信します。受信した日から受講開始可能です。 特定アドレス以外からのメールを受信拒否している場合は @eden.ac からのメールを受信するよう設定してください。 受講終了後、自身で「受講証明書」を発行してください。
② 事前課題	上記講義受講後から演習実施日までの間に取り組む 詳細はプログラムをご確認ください。
③演習(集合研修)	令和5年12月23日(土) 13:30～16:00 (受付13:00～) ① 講義(eラーニング 200分)の「受講証明書」(写)と ② 事前課題を受付時にご提出ください。

演習会場：島根県看護研修センター 松江市袖師町7-11

※看護研修センターの駐車場は看護研修センター前と別館前のみです。数に限りがありますので
できるだけ公共交通機関をご利用いただきますようご協力お願いいたします。

対象：病院・診療所等の外来に勤務している または勤務の予定のある看護職

受講者：約50名

受講料：会員 3,300円(内消費税300円)

お申し込み後、メールにてご案内する指定の口座へお振込ください。

演習講師：島根県健康福祉部 医療統括監 谷口栄作 氏

演習ファシリテーター：島根県看護協会 看護師職能I委員会 委員

プログラム：

	時間	内容	講師 (敬称略)
① 講義 (eラーニング)	40分	1) 外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割	吉川久美子 (日本看護協会)
	40分	2) 外来における在宅療養支援	永田智子 (慶應義塾大学)
	40分	3) 在宅療養を支える地域連携とネットワーク	吉田千文 (常磐大学)
	40分	4) 在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援	藤井淳子 (東京女子医科大学病院)
	40分	5) 在宅療養患者(外来患者)を支える社会資源	松本明子 (聖路加国際病院)
② 事前課題		講義(eラーニング)を受講後、下記①②について、別紙「事前課題記入用紙」を使用しA4用紙1~2枚にまとめる ①地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について ②外来における療養支援について自身が感じている課題	
③ 演習	150分	講義：地域の現状や自施設を取り巻く状況等について(20分) グループディスカッション：事例検討(130分) 全体共有	【講師】 谷口栄作 医療統括監 (島根県健康福祉部) 【ファシリテーター】 島根県看護協会 看護師職能I委員会 委員

※1 ①受講終了後、自身で「受講証明書」を発行し、写しを演習受付時にご提出ください。

※2 ②事前課題は別紙「事前課題記入用紙」を使用し(A4用紙1~2枚にまとめる)演習当日に受付で提出してください。「事前課題記入用紙」は本会ホームページからダウンロード可能です。

※3 ①講義(eラーニング)、②事前課題、③演習すべて終了した受講生に修了証を発行します。

その他：* 演習の開催に当たっては、密にならない環境や消毒・マスク着用等細心の注意をしながら実施いたします。

* 本研修を急遽中止する場合は、島根県看護協会ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

* 演習日にやむを得ず遅刻・欠席する方は、必ず事前に事務局に連絡ください。

«お問い合わせ» 公益社団法人島根県看護協会 事務局
担当：田中(常任理事) 加納(事務担当)
TEL：0852-25-0330 FAX：0852-25-3157